

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	道南中部
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	608,000千円	
年 効 用	②	67,525千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0732	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	922,472千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.51	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加（公共牧場以外）	畜産物生産効果	61,425	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
農産物の生産性の増加等（公共牧場分）	畜産物生産効果等	6,100	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛 草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計		67,525	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	下川
-----	------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	5 3 6, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	4 5, 6 8 6 千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1＋ 建設利息率)	⑤	0. 0 6 2 6	総合耐用年数に応じた効 用から総便益を算定する ための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	7 2 9, 8 0 8 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 3 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量 の増加	畜産物生産効果	4 5, 6 8 6	草地の整備等による牧 草収量の増加に伴う飼 養頭数増及び生産乳量 (肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		4 5, 6 8 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	羽幌高台
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	300,000千円	
年 効 用	②	25,715千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	23年	当該事業の耐用年数
還元率×(1＋ 建設利息率)	⑤	0.0673	総合耐用年数に応じた効 用から総便益を算定する ための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	382,095千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.27	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量 の増加	畜産物生産効果	25,715	草地の整備等による牧 草収量の増加に伴う飼 養頭数増及び生産乳量 (肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		25,715	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東紋西部
-----	------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	３７４，１３０千円	
年 効 用	②	４５，９３２千円	
廃 用 損 失 額	③	０	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	２２年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）	⑤	０．０６９２	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	６６３，７５７千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	１．７７	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	４５，９３２	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
計		４５，９３２	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊富東部
-----	------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	４８６，０００千円	
年 効 用	②	４７，９５５千円	
廃 用 損 失 額	③	０	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	１９年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）	⑤	０．０７６１	総合耐用年数に応じた効 用から総便益を算定する ための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	６３０，８３７千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	１．２９	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量 の増加	畜産物生産効果	４７，９５５	草地の整備等による牧 草収量の増加に伴う飼 養頭数増及び生産乳量 (肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		４７，９５５	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	豊浦
-----	------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	９２０，０００千円	
年 効 用	②	１１４，０１１千円	
廃 用 損 失 額	③	０	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	１５ 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）	⑤	０．０８９９	総合耐用年数に応じた効 用から総便益を算定する ための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	１，２６８，１９７千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	１．３７	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量 の増加	畜産物生産効果	１１４，０１１	草地の整備等による牧 草収量の増加に伴う飼 養頭数増及び生産乳量 (肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		１１４，０１１	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	鹿追
-----	------------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 1 9, 0 0 0千円	
年 効 用	②	1 3 1, 7 2 9千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	1 8 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）	⑤	0. 0 7 9 0	総合耐用年数に応じた効 用から総便益を算定する ための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 6 6 7, 4 5 5千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 6 3	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量 の増加	畜産物生産効果	1 3 1, 7 2 9	草地の整備等による牧 草収量の増加に伴う飼 養頭数増及び生産乳量 (肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		1 3 1, 7 2 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	清水
-----	------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6 4 1, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	5 5, 1 9 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	2 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 6 9 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	7 9 7, 5 5 7 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 2 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	5 5, 1 9 1	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		5 5, 1 9 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	熊牛
-----	------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	970,000千円	
年 効 用	②	89,907千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	19年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0761	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,181,432千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.21	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	89,907	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量(肉生産量)の増加 対象家畜：牛
計		89,907	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	下頓別
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	315,000千円	
年 効 用	②	21,066千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	404,337千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.28	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	6,673	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
営農経費の節減 農業経営向上効果	営農経費節減効果	14,393	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計		21,066	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	大 別
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	6 6 1, 5 0 0 千円	
年 効 用	②	4 5, 9 8 7 千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋ 建設利息率）	⑤	0. 0 5 1 6	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	8 9 1, 2 2 0 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 3 4	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	1 8, 0 8 6	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
営農経費の節減 農業経営向上効果	営農経費節減効果	2 7, 9 0 1	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計		4 5, 9 8 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	崎無異
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	399,000千円	
年 効 用	②	46,025千円	
廃 用 損 失 額	③	0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	25年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0661	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	696,293千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.74	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	31,002	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
営農経費の節減	営農経費節減効果	12,843	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
施設維持管理経費の節減	維持管理費等節減効果	2,180	雑用水施設整備による維持管理費の節減
計		46,025	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	釧 路
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 9 0, 7 1 0 千円	関連事業 177,710千円含む
年 効 用	②	7 9, 5 9 9 千円	
廃 用 損 失 額	③	1 0, 5 4 6 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0. 0 5 3 9	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1, 4 6 6, 2 4 4 千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1. 1 3	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜 産 物 生 産 効 果	2 7, 2 7 4	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
営農経費の節減	営 農 経 費 節 減 効 果	4 5, 0 0 9	草地等の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
維持管理費の節減	維持管理費節減効果	1, 8 8 9	排水路の整備に伴う維持管理費の減
生産基盤保全効果	更 新 効 果	5, 8 3 3	排水路の更新による農業生産の維持
公共施設保全効果	維持管理費節減効果 更 新 効 果	6 8 2 (- 2 1) (7 0 3)	国営直轄明渠排水事業関連分
環境保全効果	水辺環境整備効果	8 0 1	国営直轄明渠排水事業関連分
計		7 9, 5 9 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	佐幌川
-----	------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	924,000千円	
年 効 用	②	74,862千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	1,417,840千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.53	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	40,328	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
営農経費の節減 農業経営向上効果	営農経費節減効果	34,534	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計		74,862	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	足寄芽登
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	735,000千円	
年 効 用	②	47,310千円	
廃 用 損 失 額	③	—	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤－③	877,736千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.19	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	20,442	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び生産乳量（肉生産量）の増加 対象家畜：牛
営農経費の節減 農業経営向上効果	営農経費節減効果	23,703	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	3,165	家畜排せつ物処理の整備による畜産環境の改善及び有機質たい肥等の活用
計		47,310	